

米子労音2016年

# 5月例会

## 感想集

avec toute ma gratitude  
et en espérant revenir  
parmi vous en partage de  
notre amour de la musique

Prof. Bjart

米子労音 及び 聴衆の皆様へ  
支えられた忘れられぬコンサートとなりました  
心より御礼申し上げます。

金子 了 子 子

♪ アンコール曲 ♪

ショパン

ノクターン 第20番 嬰ハ短調 (遺作)

(ヴァイオリン演奏)

2016年5月18日(水)

午後6時45分開演

米子市文化ホール

私は滅多にCDは買わない。でも、今例会のレジス・パスキエの第一部、特にベートーヴェンのバイオリンソナタを聴いて、鳥肌が立つような感動に襲われた。とくに高音のきれいなこと、これが噂のクレモナなのかとも思った。そして、休憩になった途端にCDを買いに走った。ベートーヴェンの別の曲が数枚あるだけだったが、購入した。

デモCDを聴いて、ピアノが添え物ではなく対等に絡んで曲を作り上げていると思ったが、やはり、ピアノの存在も大きかったと思う。退場する2人の様子にもそれが伺えた。

終演後に第一番にサインを待った。にこやかに現れた彼に、黒のCD版に金色のマーカーでのサインをお願いした。キャップがなかなか外れず、苦労されていたが始終にこやかで、五線譜にト音記号まで書いてサインをしていただいた。「通訳をしますよ」と和服の女性が仲介してくださり、「ベートーベンがやはり好き」ということ「楽器はピアノを少し」というとそれぞれに親しみをこめて反応してくれた、握手も何度も交わした。

何か、今世紀、日本ではもう聴けない超名手のバイオリンニストに出会ったという気がした。

柿の種 c

10時過ぎ空港に迎えに行った。予定より少し遅れて11時過ぎに到着。二人がロビーに姿を見せたのは、11時15分を回っていた。フランス語は話せないで「Good Morning」と英語で挨拶すると、満面の笑みで力強い握手をしてくださり、たちまち大ファンになってしまった。遅れたのは、鳥がいて降りられず2回程旋回したのだそう。おかげで美しい景色、海岸線を見られたと、遅れも気にならなかった様子だったが、さすがに朝早いフライトで眠いとのこと。「また後ほど」と、タクシーに乗ってもらったが、窓からのり出すようにして何度も何度も手を振ってくださった。にこやかで優しい人柄を感じた。

コンサート大感激だった。力強く、深みがあり、妖艶な演奏、すばらしかった。交流会で、名器「クレモナ」を見せてもらった。ケースの中には弓が3本。

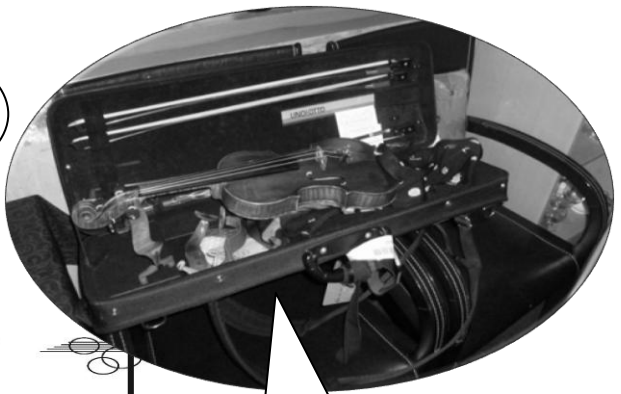
1本2000万以上だそう。ケース全体では6億！程するそう。このヴァイオリンがああすばらしい音色を奏でるんだなあと、そっと6億円ヴァイオリンに触らせてもらった。その場で即興で2曲、演奏もしてくださった。金子さんとのコンビは16年間だという。あの息の合った演奏、納得だ。

明日も朝早いフライトなので、23時前、名残を惜しみながら、またまた力強い握手でお別れした。長くも楽しい一日だった。

西村由 c



Best Violin !



銘器あらわる!



“クレモナ”の登場に交流会は大盛り上がりでした!



一同大満足!!  
忘れえぬ一夜となりました。



例会評価

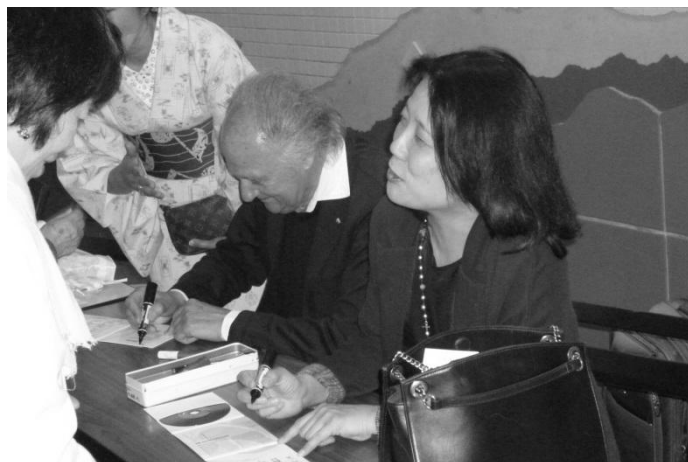
- 会員数 374 名
- サークル数 47c
- 参加者数 305 名  
(参加率) 82.1%
- 例会評価投票数 187  
(投票率) 61.3%
- 評価点 90.7point
- 新入会 13 名

今回の例会は  
私たちが運営を  
担当しました

- ・あゆみ
- ・カスカーダ
- ・2/3
- ・バイオリン
- ・西村
- ・フォルテシモ
- ・うさぎ
- ・フィンシャレー
- ・シンフォニー
- ・ナカノ
- ・西村由

今年四月米子に来て、久々に生の音楽に触れる喜びを味わった。モーツァルトは艶やかな音色に魅せられた。ベートーヴェンは、ドイツ人の演奏家とは一味違った解釈で物足りなさは感じない。サンサーンスは期待通りの演奏で技巧の限りを尽くしていた。

(現代音楽を聴いてみたい。市民オーケストラでいいんでブルックナーかショスタコーヴィチの交響曲を聴きたい。)



最初の音を聞いて、「ミルクのような・・・」という感じをうけました。正確に言うと「生クリームのような・・・」もっと適当な言葉があるかもしれないけれど。なめらかでいて、そして力強い。そんな感じです。アンサンブルもすばらしく、絶妙の呼吸でした。魅了されました。